

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 12 日 (2019.12.12)

【公開番号】特開 2018-73218 (P2018-73218A)

【公開日】平成 30 年 5 月 10 日 (2018.5.10)

【年通号数】公開・登録公報 2018-017

【出願番号】特願 2016-213922 (P2016-213922)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

G 0 6 F 3/0481 (2013.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/12 3 2 9

B 4 1 J 29/38 Z

G 0 6 F 3/12 3 2 0

G 0 6 F 3/12 3 0 3

G 0 6 F 3/12 3 6 7

G 0 6 F 3/0481 1 7 0

H 0 4 N 1/00 1 0 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 30 日 (2019.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

デバイスの状態情報に基づき、デバイスの状態を通知する情報処理装置であって、

デバイスの状態情報を取得する取得手段と、

前記取得手段により取得される状態情報の取得回数に基づき、前記取得手段により取得された状態情報による通知を抑止する状態情報か、通知をする状態情報かを判定する通知判定手段と、

前記通知判定手段により通知を抑止する状態情報であると判定された場合に、当該状態情報に基づく通知を抑止し、前記通知判定手段により通知する状態情報と判定された場合に、当該状態情報に基づく通知をする通知手段と

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記状態情報の種別を決定する種別決定手段を更に備え、

前記通知判定手段は、前記種別決定手段により決定された状態情報の種別が、前回の通知した際の状態情報の種別と一致した場合には通知を抑止し、前回の通知した際の状態情報の種別と一致しない場合には通知することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置

。

【請求項 3】

前記取得手段により取得される状態情報の連続して取得した取得回数を管理する回数管理手段を更に備え、

前記通知判定手段は、前記回数管理手段で管理された取得回数と、前記状態情報に対応

して記憶されている通知を抑止すべき回数とを用いて、通知を抑止する状態情報か、通知をする状態情報かを判定することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記通知手段により通知するデバイスの状態情報を記憶する状態情報記憶手段と、
前記状態情報記憶手段に記憶されている状態情報を参照することにより、通知を抑止する状態情報を設定する設定画面を表示する設定画面表示手段と、
を更に備えることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記設定画面表示手段は、前記状態情報ごとに、前記取得回数を設定することを特徴とする請求項 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記情報処理装置に登録されているデバイスのデバイス識別情報を取得するデバイス識別情報取得手段と、
前記取得手段は、前記デバイス識別情報取得手段により取得されたデバイス識別情報に基づき、デバイスから所定の間隔で状態情報を取得することを特徴とする請求項 5 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

デバイスの状態情報に基づき、デバイスの状態を通知する情報処理装置の処理方法であって、

前記情報処理装置は、

デバイスの状態情報を取得する取得ステップと、

前記取得ステップにより取得される状態情報の取得回数に基づき、前記取得ステップにより取得された状態情報による通知を抑止する状態情報か、通知をする状態情報かを判定する通知判定ステップと、

前記通知判定ステップにより通知を抑止する状態情報であると判定された場合に、当該状態情報に基づく通知を抑止し、前記通知判定ステップにより通知する状態情報と判定された場合に、当該状態情報に基づく通知をする通知ステップと、

を含むことを特徴とする処理方法。

【請求項 8】

デバイスの状態情報に基づき、デバイスの状態を通知する情報処理装置のプログラムであって、

前記情報処理装置を、

デバイスの状態情報を取得する取得手段と、

前記取得手段により取得される状態情報の取得回数に基づき、前記取得手段により取得された状態情報による通知を抑止する状態情報か、通知をする状態情報かを判定する通知判定手段と、

前記通知判定手段により通知を抑止する状態情報であると判定された場合に、当該状態情報に基づく通知を抑止し、前記通知判定手段により通知する状態情報と判定された場合に、当該状態情報に基づく通知をする通知手段

として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

デバイスの状態情報に基づき、デバイスの状態を通知する情報処理装置であって、デバイスの状態情報を取得する取得手段と、前記取得手段により取得される状態情報の取得回

数に基づき、前記取得手段により取得された状態情報による通知を抑止する状態情報か、通知をする状態情報かを判定する通知判定手段と、前記通知判定手段により通知を抑止する状態情報であると判定された場合に、当該状態情報に基づく通知を抑止し、前記通知判定手段により通知する状態情報と判定された場合に、当該状態情報に基づく通知をする通知手段とを備えることを特徴とする。